

インマヌエル中目黒キリスト教会

2016年4月3日聖日礼拝

イースターを超えて

「キリストはヤコブに現われ」

第1コリント 15章 1節 - 7節
使徒の働き 1章 12節 - 14節

竿代照夫牧師

聖書朗読

新約聖書

コリント人への手紙第

15章1節～7節

使徒の働き

1章12節～14節

聖書本文は新改訳聖書第三版

(©新日本聖書刊行会) を使用しています

第二版の聖書は 310、208 ページ

第三版の聖書は 339、227 ページ

- 1 兄弟たち。私は今、あなたがたに福音を知らせましょう。これは、私あなたがたに宣べ伝えたもので、あなたがたが受け入れ、また、それによって立っている福音です。
- 2 また、もしあなたがたがよく考えもしないで信じたのでないなら、私の宣べ伝えたこの福音のことばをしっかりと保っていれば、この福音によって救われるのです。

- 3 私があなたがたに最もたいせつなこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。キリストは、聖書の示すとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、
- 4 また、葬られたこと、また、聖書の示すとおりに、三日目によみがえられたこと、
- 5 また、ケパに現れ、それから十二弟子に現れたことです。

- 6 その後、キリストは五百人以上の兄弟たちに同時に現れました。その中の大多数の者は今なお生き残っていますが、すでに眠った者もいくらかいます。

- 7 その後、キリストはヤコブに現れ、それから使徒たち全部に現れました。

[使徒の働き第 1 章 12 節 ~ 14 節]

12 そこで、彼らはオリーブという山からエルサレムに帰った。この山はエルサレムの近くにあって、安息日の道のりほどの距離であった。

13 彼らは町に入ると、泊まっている屋上の間に上がった。この人々は、ペテロとヨハネとヤコブとアンデレ、ピリポとトマス、バルトロマイとマタイ、アルパヨの子ヤコブと熱心党員シモンとヤコブの子ユダであった。

14 この人たちは、婦人たちやイエスの母
マリア、およびイエスの兄弟たちとともに、
みな心を合わせ、祈りに専念していた。

説教

イースターを超えて

「キリストはヤコブに現われ」

コリント人への手紙第

15章1節-7節

使徒の働き

1章12節-14節

竿代照夫牧師

主テキスト

「その後、キリストはヤコブに現われ、それから使徒たち全部に現われました。」

(1 コリント 15 : 7)

1. 復活後、キリストは何度かご自分を
現された

・イースター当日

墓のそばでマグダラのマリヤに
女性たちに

ペテロに

エマオ途上で二人の弟子に

エルサレムで10弟子に

・翌週の日曜日

トマスも含む11弟子に

1. 復活後、キリストは何度かご自分を現された
 - ・ 数週経って
 - ・ ガリラヤ湖で7弟子に
 - ・ 不明
 - ・ ガリラヤの山で五百人以上の弟子達に
 - ・ 不明
 - ・ ヤコブに
 - ・ 昇天の直前
 - ・ エルサレムで11弟子に
 - ・ 昇天日(復活後四十日目)
 - ・ オリーブ山で百二十名ほどの弟子達に

2. ヤコブに現れた背景と理由

- ・イエスの次兄としての平凡な生育
- ・イエスが「出家した」後の困惑
 - 家計を支える困難
 - 兄を誇りと思う時期(ヨハネ2:12)
 - 「狂った兄を」連れ戻したいと
 - 思った時期(マルコ3:21、31、35)
- ・エルサレムに向かう旅で兄イエスに、「神の子」として自分を示せと挑戦
 - = 不信仰の告白(ヨハネ7:5)
- ・十字架が齎したより大きな困惑

3. ヤコブへの現れ: 何時、何処で?

- ・イエスが、ガリラヤの山で五百人以上の弟子たちに同時に現われた後

1コリント15:7

- ・多分ガリラヤで

4. 現れがもたらした変化

- ・ イエスをキリストとして仰ぐ
- ・ 弟子グループに加わり、聖霊の満たしを求めて祈る(使徒1:12~14)
- ・ 聖霊に満たされ、エルサレム教会設立に加わる
- ・ ペテロと並びエルサレム教会の二本柱の一人に(ガラテヤ1:18、19)
- ・ ヤコブ書を記す(ヤコブ1:1)

終わりに

活けるキリストとの出会いは
人生を変える